

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年5月7日

【四半期会計期間】 第47期第1四半期(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

【会社名】 B - R サーティワン アイスクリーム株式会社

【英訳名】 B-R 31 ICE CREAM CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 渡辺 裕明

【本店の所在の場所】 東京都品川区上大崎三丁目1番1号

【電話番号】 03(3449)0331

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部経営管理部長 肥沼 邦幸

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区上大崎三丁目1番1号

【電話番号】 03(3449)0331

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部経営管理部長 肥沼 邦幸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第46期 第1四半期累計期間	第47期 第1四半期累計期間	第46期
会計期間		自 2018年1月1日 至 2018年3月31日	自 2019年1月1日 至 2019年3月31日	自 2018年1月1日 至 2018年12月31日
売上高	(千円)	4,307,497	3,784,567	20,086,346
経常利益又は経常損失()	(千円)	32,836	136,158	602,961
当期純利益又は四半期純損失()	(千円)	26,905	76,481	282,302
持分法を適用した場合の 投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	735,286	735,286	735,286
発行済株式総数	(千株)	9,644	9,644	9,644
純資産額	(千円)	9,232,425	9,192,136	9,402,492
総資産額	(千円)	20,697,473	17,328,235	18,344,950
1株当たり当期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額()	(円)	2.79	7.94	29.30
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
1株当たり配当額	(円)			30.00
自己資本比率	(%)	44.6	53.0	51.3

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3 持分法を適用した場合の投資利益は、関連会社がないため、記載しておりません。

4 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

第46期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日において当社が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期累計期間（2019年1月～3月）における日本国内の経済環境は、企業収益や雇用情勢・所得環境の改善が継続し、個人消費の増加など景気は引き続き回復基調で推移しました。一方で米国の通商政策により懸念される貿易摩擦の影響や英国のEU離脱問題など海外の政治・経済動向の不確実性、慢性的な労働力不足など、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

また、アイスクリームを含めたデザート市場は年々拡大し続けており、外食業界ではInstagramやLINE、Facebookなどを中心としたSNSを使ったコミュニケーションやプロモーションが急速に進化し、業態を超えた競争が一層激化しております。

このような環境の下、当社ではサーティワンアイスクリームの永遠の経営モットーである“ We make people happy ” 「アイスクリームを通じて、お客様に幸せをお届けします。」をスローガンに、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと“ FUN（楽しいこと、嬉しいこと、感動すること）” に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンとなることを目指すとともに、企業の継続的成長の維持と、企業価値の増大に努めてまいりました。

当期のマーケティング戦略は、店頭強化による既存店の活性化を最重要課題とし、アイスクリーム専門店にしかできないフレーバーの投入や、専門店ならではのサービスを提供するとともに、キャンペーンを強化してまいりました。

また、市場環境の変化に対応した店舗戦略として、店頭でキャンペーンやお勧め商品を動画により発信する「デジタル・サイネージ」の導入と強化を進め、店舗の改装やスクラップ・アンド・ビルドにも引き続き積極的に取り組んでおります。

当四半期累計期間の営業施策としては、毎月「フレーバー・オブ・ザ・マンズ」として魅力的なアイスクリームを新発売するとともに、冬限定の温かいアイスクリームデザート「ホット31ドルチェ」や、苺の季節に合わせた「フレッシュストロベリーサンデー」を投入し、商品ラインナップを強化いたしました。また、お正月やひなまつり等のオケージョンに合わせた新商品の発売や、ディズニー・キャラクターを使用したバリュー・プロモーションなども実施しております。コミュニケーション・ターゲットは今年も情報発信力の強い女子中高生に設定し、31cLubやSNSでの告知を強化して来店促進と売上の向上を図りました。

また、店舗施策として改装を22店実施した一方、戦略的な閉鎖を先行した結果、期末店舗数は1,153店舗と前年同期末に比べ9店舗減少となりました。

しかし、売上高は、昨年3月に実施したソフトバンク社とのコラボレーション「SUPER! FRIDAY」を今年は実施しなかったこともあり、当第1四半期累計期間は37億84百万円（前年同期比87.9%）と前年同期間を大きく下回りました。

売上原価は18億85百万円（前年同期比86.4%）、売上総利益は18億99百万円（前年同期比89.4%）と売上高の減少に伴い減少いたしました。

販売費及び一般管理費は、物流効率化などの削減努力により減少しましたが、営業損失は1億64百万円（前年同期は営業損失54百万円）となりました。

以下、経常損失1億36百万円（前年同期は経常損失32百万円）、四半期純損失76百万円（前年同期は四半期純損失26百万円）となりました。

なお、当社はアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2)財政状態の分析

当第1四半期末における総資産は前事業年度末に比べ10億16百万円減少の173億28百万円となりました。これは主に、売掛金の減少によるものであります。

総負債は前事業年度末に比べ8億6百万円減少の81億36百万円となりました。これは主に、未払金並びに未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ2億10百万円減少の91億92百万円となりました。これは主に、配当金の支払いにより繰越利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当社は、バスキン・ロピンス・フランチャイジング エルエルシーと“ライセンスおよび技術援助契約”を締結しており、アイスクリーム研究開発については同社で実施しているため、研究開発費は発生しておりません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	38,003,000
計	38,003,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (2019年5月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,644,554	9,644,554	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	9,644,554	9,644,554		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年1月1日～ 2019年3月31日		9,644,554		735,286		241,079

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 8,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,634,000	96,340	
単元未満株式	普通株式 2,054		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	9,644,554		
総株主の議決権		96,340	

(注) 1 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2018年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

2 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式61株が含まれております。

【自己株式等】

2019年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) B - R サーティワン アイスクリーム株式会社	東京都品川区上大崎 三丁目1番1号	8,500		8,500	0.09
計		8,500		8,500	0.09

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間(2019年1月1日から2019年3月31日まで)及び第1四半期累計期間(2019年1月1日から2019年3月31日まで)に係る四半期財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,395,376	2,053,389
売掛金	3,203,637	2,238,437
製品	750,395	944,806
原材料	645,025	621,868
貯蔵品	350,390	260,890
前渡金	40,772	93,313
前払費用	284,641	320,562
未収入金	152,365	99,638
未収還付法人税等	-	222
その他	47,971	100,308
貸倒引当金	86	76
流動資産合計	7,870,491	6,733,359
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,114,753	4,120,073
減価償却累計額	1,668,884	1,707,732
建物(純額)	2,445,869	2,412,341
構築物	437,700	437,700
減価償却累計額	214,776	219,532
構築物(純額)	222,924	218,168
機械及び装置	3,997,716	4,008,564
減価償却累計額	2,536,690	2,567,906
機械及び装置(純額)	1,461,026	1,440,657
賃貸店舗用設備	4,300,697	4,487,938
減価償却累計額	2,457,030	2,502,814
賃貸店舗用設備(純額)	1,843,667	1,985,123
直営店舗用設備	168,092	169,016
減価償却累計額	89,797	94,091
直営店舗用設備(純額)	78,294	74,925
車両運搬具	71,065	71,065
減価償却累計額	49,351	51,278
車両運搬具(純額)	21,714	19,787
工具、器具及び備品	828,352	750,154
減価償却累計額	633,542	564,462
工具、器具及び備品(純額)	194,810	185,691
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	92,698	42,564
有形固定資産合計	7,056,366	7,074,622
無形固定資産		
ソフトウェア	327,651	343,647
ソフトウェア仮勘定	39,733	80,829
電話加入権	17,065	17,065
無形固定資産合計	384,450	441,541

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	74,378	74,950
従業員に対する長期貸付金	3,003	2,868
破産更生債権等	139,865	139,222
長期前払費用	506,127	493,864
繰延税金資産	136,848	194,780
敷金及び保証金	2,181,193	2,180,082
その他	19,685	19,685
貸倒引当金	27,460	26,742
投資その他の資産合計	3,033,642	3,078,711
固定資産合計	10,474,459	10,594,875
資産合計	18,344,950	17,328,235

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	580,568	568,136
1年内返済予定の長期借入金	430,204	380,216
未払金	1,655,648	1,283,042
未払費用	37,568	37,293
未払法人税等	175,568	-
未払消費税等	43,571	2,028
前受金	2,276,977	2,183,996
預り金	162,466	150,314
賞与引当金	42,375	103,293
役員賞与引当金	3,000	-
ギフト券回収損失引当金	186,386	180,139
その他	71,476	34,749
流動負債合計	5,665,813	4,923,210
固定負債		
長期借入金	1,664,130	1,606,627
退職給付引当金	166,719	167,227
役員退職慰労引当金	85,900	89,872
資産除去債務	128,197	128,384
長期預り保証金	1,231,698	1,220,777
固定負債合計	3,276,645	3,212,888
負債合計	8,942,458	8,136,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金		
資本準備金	241,079	241,079
資本剰余金合計	241,079	241,079
利益剰余金		
利益準備金	168,676	168,676
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	39,512	39,512
別途積立金	4,140,000	4,140,000
繰越利益剰余金	4,094,676	3,873,655
利益剰余金合計	8,442,866	8,221,844
自己株式	16,893	16,901
株主資本合計	9,402,337	9,181,308
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	154	135
繰延ヘッジ損益	-	10,692
評価・換算差額等合計	154	10,827
純資産合計	9,402,492	9,192,136
負債純資産合計	18,344,950	17,328,235

(2) 【四半期損益計算書】

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	4,307,497	3,784,567
売上原価	2,182,535	1,885,112
売上総利益	2,124,961	1,899,455
販売費及び一般管理費	2,179,241	2,064,059
営業損失()	54,279	164,603
営業外収益		
受取利息	286	163
店舗用什器売却益	7,406	17,641
販売済未使用ギフト券収入	5,294	17,883
受取ロイヤリティー	4,301	477
その他	13,374	2,295
営業外収益合計	30,664	38,461
営業外費用		
支払利息	3,270	4,146
店舗設備除去損	5,597	5,809
その他	353	60
営業外費用合計	9,221	10,016
経常損失()	32,836	136,158
特別損失		
固定資産売却損	236	-
固定資産廃棄損	15,146	12,836
特別損失合計	15,383	12,836
税引前四半期純損失()	48,219	148,994
法人税等	21,313	72,513
四半期純損失()	26,905	76,481

【注記事項】

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期損益計算書関係)

前第1四半期累計期間(自2018年1月1日 至2018年3月31日)及び当第1四半期累計期間(自2019年1月1日 至2019年3月31日)

当社では、主として夏季に需要が伸びる製品の製造・販売を行っているため、第2、第3四半期会計期間の販売実績が、他の四半期会計期間に比べて高くなっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間における減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
減価償却費	323,139千円	342,991千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年3月16日 定時株主総会	普通株式	192,719	20.00	2017年12月31日	2018年3月19日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月15日 定時株主総会	普通株式	144,539	15.00	2018年12月31日	2019年3月18日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、アイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

四半期財務諸表等規則第10条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期財務諸表等規則第10条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期財務諸表等規則第10条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純損失金額()	2円79銭	7円94銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	26,905	76,481
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	26,905	76,481
普通株式の期中平均株式数(株)	9,635,993	9,635,992

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年5月7日

B - R サーティワンアイスクリーム株式会社

取締役会御中

P W C あらた 有限責任監査法人

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士

萩

森

正

彦

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているB - R サーティワン アイスクリーム株式会社の2019年1月1日から2019年12月31日までの第47期事業年度の第1四半期会計期間（2019年1月1日から2019年3月31日まで）及び第1四半期累計期間（2019年1月1日から2019年3月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、B - R サーティワン アイスクリーム株式会社の2019年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。